

令和 6 年度 上尾市立東中学校 学校評価

1 実施時期

(1) 自己評価 第 1 回 令和 6 年 7 月 5 日

第 2 回 令和 6 年 12 月 2 日

(2) 学校関係者評価 令和 7 年 1 月 28 日

2 実施内容

(1) 自己評価の内容及び結果（段階評定法で 4・3・2・1 から選択）

			第 1 回 平均値	第 2 回 平均値
カリキュラム・マネジメントの確立	1-1	問題発見・課題解決能力を育成する授業を行っている	3. 1 0	2. 9 4
	1-2	物事を多面的・多角的に見て、判断する能力を育成する授業を行っている	3. 1 0	3. 0 9
	1-3	言語能力（リーディングスキル含）を育成する授業を行っている	3. 0 0	2. 9 7
	1-4	I C T 機器を使いこなせる能力を育成する授業を行っている	3. 0 0	2. 6 9
	1-5	多様な他者と協働しながら、目標に向かって努力・挑戦する力を育成している	3. 1 9	3. 1 4
	1-6	新たな価値を生み出す、豊かな創造性を高めようとしている	2. 9 3	2. 9 1
コミュニティ・スクールの推進	2-1	地域の学校として、地域とともに育ち、生徒に地域の担い手としての自覚を持たせている	2. 7 3	2. 6 0
	2-2	地域の人々との学びや体験活動を通して、自己肯定感や他人を思いやる心を育ませている	2. 7 8	2. 6 6
自立する力の育成	3-1	学習と部活動を両立できおるような指導を行っている	3. 2 3	3. 2 4
	3-2	大きな声で「あいさつ」と「返事」ができるように指導している	3. 2 1	2. 9 7
	3-3	時間を守り、清掃活動やボランティア活動に積極的に取り組む態度を育成している	2. 8 5	2. 9 7
	3-4	生徒の主体的な活動を促す、意図的・計画的な生徒指導を行っている	3. 1 1	3. 0 6
チーム東として	4-1	自ら自己研鑽に励み、研究と修養を重ね、指導力の向上に努めている	3. 2 1	3. 2 3
	4-2	組織の一員として、認め合い・課題解決に向けて結集できるように努めている	3. 1 7	3. 1 9
安心・安全で	5-1	施設設備の点検の徹底を図っている	3. 2 3	3. 1 9

きれいな学習環境	5-2	校内の整理整頓・環境保全に努めている	3. 13	3. 19
	5-3	I C T教育環境整備を進めている	2. 97	2. 77
シティズンシップ教育の推進	6-1	社会参画意識の向上する指導を行っている	3. 00	3. 09
	6-2	持続可能な社会づくりの担い手の育成を行っている	3. 07	2. 94
	6-3	多様な他者と協働できる力を習得させている	3. 21	3. 18
生徒指導・教育相談	7-1	いじめを許さない気運を醸成している	3. 36	3. 41
	7-2	共通理解、報告・相談・連絡・確認の徹底をしている	3. 31	3. 44
	7-3	「自己肯定感を育てる」教育の推進をしている	3. 14	3. 32
	7-4	養護教諭、さわやか相談員、S C、アッピースマイルサポーターと連携している	3. 28	3. 23
	7-5	不登校生徒、不登校生徒を持つ保護者を支援している	3. 04	3. 03
進路指導	8-1	3年間を見通した計画的な進路指導・キャリア教育を推進している	2. 96	2. 73
健全な職場環境	9-1	事務負担を分かち合い、負担を軽減している	2. 97	2. 69
	9-2	見通しを持って職務遂行を行っている	3. 03	2. 97
	9-3	計画的な特別休暇等の取得を行っている	3. 00	2. 89
	9-4	一人ひとりが自らワークライフバランスを考える	2. 97	2. 89

(2) 参考として生徒アンケート、保護者アンケートも実施

(3) 学校関係者評価委員会の開催（構成委員：学校運営協議委員のメンバー）

自己評価結果（生徒アンケート、保護者アンケートを参考）を学校関係者評価委員会で説明し、課題や成果について様々な角度からご意見やご感想をいただく。

3 公表方法 学校だより及び学校ホームページにて公表

4 成果

「自己評価」の結果から、本校の教職員は、自校の教育をおおむね肯定的に捉え、特に平均値が高かった項目は、「学習と部活動を両立できおるような指導を行っている」

「自ら自己研鑽に励み、研究と修養を重ね、指導力の向上に努めている」「いじめを許さない気運を醸成している」「共通理解、報告・相談・連絡・確認の徹底をしている」

「養護教諭、さわやか相談員、S C、アッピースマイルサポーターと連携している」である。

5 今後の課題と改善策

(1) コミュニティ・スクールの推進

コロナ禍の影響から、生徒が地域の方と触れ合う機会が大幅に減少したことが大きく影響していると考えられる。学校運営協議会において、東中学校区においての学校と地域の連携をどのように図るのか議論し、情報発信していく必要がある。また、学校教育に無理のない範囲で地域の力を活用していく必要もある。

(2) 進路指導

進路指導の時間をしっかり確保していけるように進路指導・キャリア教育の指導・計画を見直していく必要があると考える。「特別活動」や「総合的な学習の時間」の活動を整理し、3年間を見通した計画を見直していきたい。

(3) 健全な職場環境

本校は教職員の働き方改革に向け、昨年度「19時半退勤」を実施し、今年度は「生徒の完全下校時刻から、1時間半後退勤」を実施した。実施にともない見通しをたて、計画的に業務に取り組めるようにし、一人に業務が偏らないようにしていく必要がある。

6 学校関係者評価委員の意見・感想等

(1) 意見・感想

- ・プリント配布が大変そうである。メール配信を上手く活用できると良いと思う。
- ・あいさつが学校・家庭・地域でどこまでできているか気になる。また、大人の方からもあいさつをしていくことが大事。
- ・高水準を維持するのは大変だと思う。先生たちの頑張りもあると思う。
- ・地域で連携していけることは連携していけたら良いと思う。

(2) 評価

本校の学校評価は妥当である。